

何故、カラスはヒトを襲う？

Why does the Crow Attack People ?

岩崎行伸

我が国に棲息している主なカラスには、ハシブトカラス、ハシボソカラスで、都市部から住宅街、林や公園等、全国の至るところで観察される。

元々ハシブトガラスは熱帯の森林や林の中に棲んでいたが、次第に都会に出現してきたといわれている。額が出っばっていて嘴が太くハシボソガラスより体長が大きく精悍な感じがする。

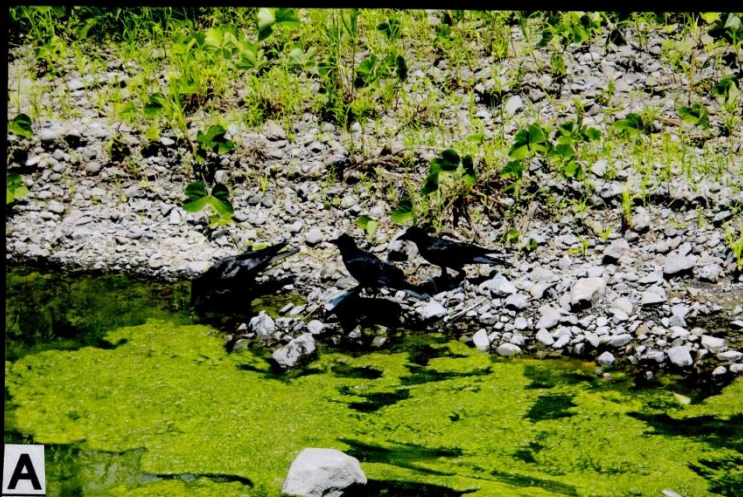
一方、ハシボソガラスは住宅地や河原等、開けた場所を縄張りにしている。額がなだらかでクチバシが細いことから、ハシブトガラスと見分けることができる。以前は棲息場所を異にしていたが、最近ではともに都市に出現し混在している。

カラスはゴミを喰い散らし、時にはヒトを威嚇したり、繁殖時期の3~7月頃にはヒトを襲うことがしばしばある。動物の遺骸を食で、農作物に害を及ぼすこと等がカラスが嫌われる理由の一つである。

しかし、カラスは頭が良く、ヒトの顔をよく覚え、そのヒトが若しカラスをいじめたりするとしつこく威嚇し襲うことが知られるが、このようなカラスと共存するには生ゴミをきちんと管理し、餌を与えないことである。

カラスは雑食性、カラスの多い場所には餌となる生ゴミが多いところに集群する。カラスは繁殖期を除いて一年中、群れをつくって行動する。群れの大きさは数羽から数100羽と様々である。ねぐらを飛び立つカラスは、ゴミ捨て場や河原、畑等に飛んで餌をあさる。カラスは大変目がよく半透明のゴミ袋の中に、食べられる物が入っているか否かを見分けることができるという。カラスの害を防ぐために、目玉を画いた風船が風に舞って輝CDや風車等の防除器具が考案されているが、直ぐ慣れて効果少ないといわれている。

カラスは公園の噴水や水たまり、河川の浅いところでよく水浴びする。体に付くハジラミやダニを落として体を清潔にするためといわれている。カラスは



A



B

写真； A：ハシブトガラスの水飲み
(塩田川/清水)

B：ハシボソガラスの休止
(馬走/清水)

Photo by Y. IWASAKI

一日中、餌をあさって行動しているが、夕方になるとねぐらに近い、電信柱や

電線に止まり、やかましく飛び回り、安全を確認後、公園の林の中や高い木の上に止まって翼を休める。

参考文献 1) 自然大博物館(1992): 鳥類、小学館、相賀 徹夫編著書

添付写真1. A: ハシブトカラス、B: ハシボソカラス

会員: 自然観察塾(塾長)、水棲&環境研究
